

2022 年度 事業報告書

2023 年 3 月 31 日

NPO 法人市民後見いきいき Net 所沢

1 事業の成果

『成年後見制度等に関する普及事業』について

今年度も昨年同様コロナ禍の中で感染拡大対策を意識しながらもできる限り積極的に活動を行った。集会形式の研修会は今年度も 5 回実施した。具体的には知的障害者放課後ディサービス事業所に通所する子の保護者向け、またもう一つは知的障害者の親が作る団体向けが知的障害者関係である。前者は未成年の子をもつ親が多く初めて成年後見制度を知る方々も多かった。後者は軽度の知的障害者のために任意後見契約を活用できるかどうか、自立生活支援をどう行うべきかなどを講演と合わせ座談会を行った。両者とも親なき後を意識した保護者からのリクエストである。たくさんの質問を頂きお答えした。

その他では成年後見支援 NPO 団体や入間市社会福祉協議会の市民後見人養成講座で講師を勤めさせていただいた。私達の市民後見 NPO の理念や活動内容、また会員それぞれの参加理由、思いなども伝えることが出来たと思っている。

昨年度出来なかった「親族後見・らしくの会」を 7 月に実施した。参加者は前回同様に全て知的障害者の家族である。実質 2 回目の開催になるが 8 割ほどの方が新規の参加者だった。今後も毎年続けていく所存である。

今年度の事業計画で Zoom を使ったオンライン形式の懇談会等のトライも考えていたが、適当なテーマが見当たらず次年度以降の課題とした。新しい試みとしては、所沢市市民フェスティバルに当法人として出展した。多くの子どもたちが遊びに来てくれてその親たちに対して成年後見制度の一端を紹介させてもらった。30 代、40 代の親に成年後見制度と同時に私達の団体を知ってもらうことは、次の世代に市民後見 NPO を引継いでいくために必要である。

当法人内での勉強会として、今年度は、「第 2 期成年後見利用促進法基本計画」「信託」そして「任意後見契約」をテーマに実施した。

『成年後見人等の受任に関する事業』について

個別相談は今年度も 28 件の相談があった（同昨年度 26 件）。内訳は、19 件は高齢者から相続や遺言書作成などの相談、他 9 件が知的障害者等の成年後見をいつから使うのが良いかの相談がいつもながら多い。また、高齢者の相談では、1 回だけでなく継続で相談されるケースも多くある。未成年の知的障害者に対して親が行う任意後見契約の相談も昨年に同様にあった。これらは今後も続く傾向と思われる。

成年後見等の受任では、法定後見は新規に 1 件受任して計 6 件、任意後見契約は新たに 2 件契約した。委任契約段階の方が死亡し 1 件終了したので計 5 件となった。「あんしん見守りサービス」は 3 月末時点の数字で計 6 件だった。任意後見契約を結んでいても、あんしん見守りサービスを未だ継続している方も 2 名いる。元気なうちの備えとして契約している方も出ている。任

意後見契約の活用が一人暮らしの身寄りのない高齢者に少しずつ拡がりをみせている。

2 事業の実施に関する事項（2022年4月1日～2023年3月31日）

（1）特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲 人数		支出額 (千円)
成年後見制度等に関する普及事業	講習会の実施	7月2日	NPO バオバブの木	1名	一般市民	18名	168
		7月31日	親族後見らしくの会	9名	障害者の親族	44名	
		10月1日	狭山市手をつなぐ親の会	3名	障害者の親	18名	
		11月21日	NPO 埼玉成年後見支援C	1名	行政書士など	20名	
		12月1日	入間市社会福祉協議会	2名	後見養成講座	13名	
成年後見人等の受任に関する事業	成年後見制度に関する相談	年度中	入間地域 4件 所沢地域 21件 狭山地域 2件 その他 1件	6名	一般	19名	892
	成年後見等の受任	年度中	所沢地域 3件	7名	・法定後見1 ・任意後見2	3名	
	被後見人等の見守り	年度中	所沢地域 9件	18名	被後見人6名 任意後見 委任契約3名	9名	
	あんしん見守り契約	年度中	入間地域 2件 所沢地域 3件	10名	・高齢者見守	5名	